

JA 秋田やまもと自己改革取組宣言

わたしたちは地域に根ざした総合事業を展開します。

1. 農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組みます。
2. 協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。
3. 「総合事業だからこそ」の強みを活かし、
地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

農業者の所得増大

平成30年度は農業政策の大転換ともいえる生産調整の見直しが行われました。当JAでは前年度から主食用米を主体とした「需要に応じた米づくり」に取り組むこととし、米卸の需要数量を確保するとともに、農家の皆様へ米の作付け拡大をお願いしております。しかし昨年は米の作柄は作況96の「やや不良」。集荷数量は当初計画に対し86%の実績となり、誠に残念な結果となってしまいましたが、取引先への積極的な販売促進活動により、概算金は県内でもトップクラスを維持しております。

農業生産の拡大

地域農業の維持発展のためには、園芸作物の拡大がますます重要となります。当JAでは安定生産に向けた土づくりのために3,600tの良品質堆肥製造や「堆肥購入助成」の継続、ねぎ、枝豆、ミニトマトに対する独自支援策としての「新規・増反分種子助成」も行ない、農業所得のさらなる増大を目指します。菌床しいたけについても今後の取扱量増加に対応するため、昨年10月よりベトナムから技能実習生の受け入れを行ないました。昨年の5名に加え、今年もさらに5名の受け入れを計画しており、販売高10億円を目標に着々と準備を進めております。さらに本年度は新たに散布料金無料の無人ボートによる水稻除草剤の散布事業を開始し、農作業の省力化に向けた取り組みを実施。新たに創設した「園芸振興積立金」は、国庫事業・県単事業を活用し、園芸メガ団地等へ取り組む生産者のために施設・機械設備・資材等の導入を支援するもので、園芸振興を目指し2億円を目標額として積み上げを行なっております。

地域の活性化

地域に根ざした総合事業を展開し、地域の活性化を目指す上でも、青年部・女性部の活動は大きな役割を担います。他にも「年金友の会」の活動や、次代を担う子どもたちへの「食農体験教室」、「JA学童野球大会」、「JAミニバスケットボール大会」等の開催。さらに「親睦ゴルフ大会」や「JAまつり」などの地域に密着したイベントを通して、今後も組合員や地域住民の皆様との交流を深め、JAとの接点強化を図っていきます。

時代は平成から令和となり、JAを取り巻く環境は依然厳しいものとなっておりますが、JA秋田やまもとではこれからも管内である八峰町・三種町の農業と皆様の暮らしをサポートしながら、「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」の実践に向け、役職員一同が全力を尽くして参ります。

令和元年度 営農指導事業予算 … **5,657万円**

(営農改善費 **4,812万円** + 教育情報費 **845万円**)